

# 市民公開講座「がんが治るんだって!?!」



今、話題の  
ノーベル賞受賞の  
**免疫治療**とは

カウンターテナーの米良美一さんをゲストに迎えて  
話題の免疫療法について考えます。

申込不要  
**3/9** (土)  
14:00 開始

**参加無料**

- 会場** ふじみ野市立勤労福祉センター
- 内容**  
**第1部** 「生きながら生まれ変わる」  
 カウンターテナー 米良美一さん  
**第2部** 「あなたにもわかる腫瘍免疫学」  
 上福岡総合病院内視鏡センター長  
 外科副部長 松下典正先生
- 問い合わせ**  
 東入間医師会事務局 ☎ 264-9592

## はじめての離乳食 (離乳食教室)

**3月19日** (火) 会場: 保健センター2階 調理室 (中央図書館前 藤久保 185-1)

赤ちゃんにあげるはじめてのごはん。「何からあげればいいのかかわからない」「はじめかたがわからない」そんな不安や疑問に答える講座です。実際に簡単な調理実習も行います。一緒に作ってみませんか?

- ▶ **対象** 第1子 (生後4~5か月の子と保護者)
- ▶ **定員** 12組 ▶ **料金** 無料
- ▶ **持ち物** ①エプロン・②三角巾 (バンダナ可)・③手拭タオル
- ▶ **申込方法**…電話・FAX・メールで件名を離乳食教室申込みとし、「①母の名前②住所③電話番号④子の名前⑤子の生年月日」を記入し申し込み。

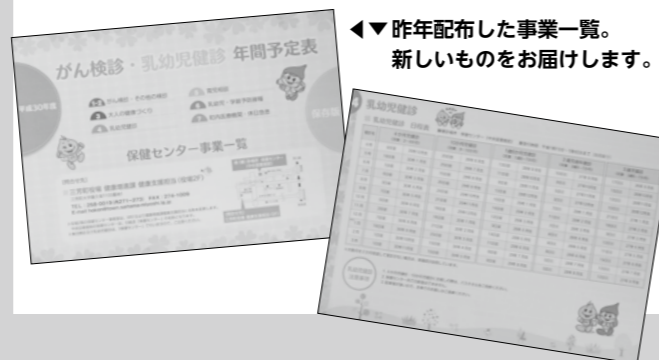
※保育はありませんが、お子さんと一緒に参加できます。

## 保健センターの年間事業が分かる!

### 事業一覧を広報みよし次号に折りこみ

がん検診や健康診断など大切な情報を掲載

毎年全戸配布している「保健センター事業一覧」の最新版を来月配布の広報みよし4月号に折り込みます。各がん検診・ママのための健康診断の申込方法も掲載していますので、大切に自宅に保管し、一年間活用してください。



◀ 昨年配布した事業一覧。新しいものをお届けします。

## 休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	富士見市鶴馬 1967-1
電話番号	049-264-9592	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	月~土曜	月・木曜
診療時間	9:00~16:00 20:00~22:00	20:00~22:00	月・木曜が平日 18:00~翌朝8:00まで 月・木曜が祝日 8:00~翌朝8:00まで

※第二休日診療所は平成30年3月25日に閉鎖しました。

## 平成31年度としょかん・くらぶ (小学生) 会員募集

- 読み聞かせとブックトークで本に親しみ、読む力を育みます。
- ▶ **開催日** 7、9、12月を除く第4土曜日
  - ※ 1回目は4/27(土)
  - ▶ **時間・対象** 新1・2年生 10:10~11:00 (定員40人)  
新3~6年生 11:10~12:00 (定員55人)
  - ▶ **申込み** 3/23(土) 12:00から受け付け (電話では仮受付のみ)
  - ▶ **問合せ** 中央図書館 ☎ 258-6464

下記のイベント会場は全て中央図書館  
 申込みは中央図書館へ (電話可 ☎ 258-6464)

### 【無料】文学作品を朗読で楽しむ会

**3月2日** (土) 14:00~15:30 受付 13:40~  
 ▶ **朗読** 寺田道雄氏 (元NHKアナウンサー)、七月の朗読会  
 ▶ **対象** 中学生以上 ▶ **定員** 50人

### 【無料】大人のための落語に親しむ会

**3月17日** (日) 14:00~16:00 受付 13:40~  
 ▶ **噺家** 三教亭南教 ▶ **内容** 古典落語「らくだ」ほか  
 ▶ **対象** 中学生以上 ▶ **定員** 50人

### 【無料】中高年の読書会 ~ビブリオバトル方式~

**4月18日** (木) 14:00~16:00 受付 13:40~  
 ▶ **内容** バトラー (発表者) がおすすめの本を紹介し、質疑応答を経て、投票で一番読みたい本を決定する書評合戦。聞くだけの参加も歓迎。  
 ▶ **対象・定員** 大人30人 (うち発表者7人)

## 図書館だより



毎月23日は「よみ愛・読書の日」

- 中央図書館** ☎ 258-6464  
 開館時間 / 10:00~19:00 (土・日・祝 18:00まで)  
 休館日 / 毎週月曜日、月末 (土・日除く)
- 竹間沢分館** ☎ 274-1722  
 開館時間 / 11:00~18:00  
 休館日 / 毎週月曜日、月末 (土・日除く)
- 配本所 (中央公民館内)** ☎ 258-0050  
 開館時間 / 9:00~21:00  
 休館日 / 原則第1月曜日 (中央公民館休館日)

## 「学校にまつわる本」別置紹介中



### 児童書

#### 「夜間中学へようこそ」

山本悦子 作  
 岩崎書店 2016年5月発行  
 請求記号: 913ヤ

祖母が突然、夜間中学に通いだすと言い出し、中一の優菜は驚く。だが、祖母の捻挫を機に、優菜も祖母の学校を見学し…。初めて知る夜間中学での驚きや祖母の秘めた決意を知り、心を動かされる少女の物語。高学年から。

## みよし歴史探訪

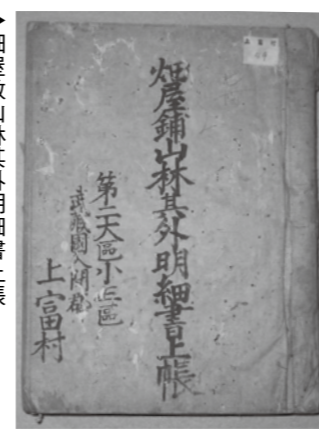
文化財保護課 ☎ 258-16655

## 三芳地名考(上富の地名)

上富村の開拓は、元禄7年から9年にかけて柳沢吉保の命により行われ、同時に中富・下富の三村を開拓したことから三富の開拓として知られる。村名の「富」は、論語子路編にある「人が多くいるならば次はこれを富ますことだ。豊かになったら次は教育が大事だ」という件より吉保自ら採ったといわれる。

上富も北永井と同様に短冊状に地割された開拓村であるため、江戸時代の検地帳には「大井道南角」「水子道北」「亀久保道西角」など道を基準とした位置を示す書き込みと「平六屋敷裏」「源兵衛屋敷裏」「善五兵衛屋敷裏」という屋敷を基準とした書き込みが存在するのみである。このように小字名がないのは、短冊状に土地を区画する畑作新田開拓村であるがゆえに、新開地以外は名請人の屋敷地と地続きで、納税者(名請人)と土地の所在が明確であったことから小字は不要とされたと考えられる。

土地を地番で管理するようになった明治初年の上富村「畑屋鋪山林其外明細書上帳」には、通東・喜新・通西・永久保・八軒家の字が見られ、他に18地番に及ぶ高外地(租税免除地)が存在した。明治9年の地租改正時に、通東が中東・吉拓・東草に、喜新家が吉拓と東草に、通西が南止・下饒・中西に、永久保が上永久保と東永久保に、高外地1番から17番が見取場(面積把握のみで石高を付けない土地)であったことから緑に、多福寺寺領の高外地18番が木ノ宮に変更され、八軒家はそのまま存続し現在に至っている。



→ 畑屋敷山林其外明細書上帳